



並木中等story

令和4年1月7日号

1月7日に予定していた集会の校長挨拶です。

明けましておめでとうございます。集会に当たり2つお話をします。

1つ目です。皆さんの中には、今年の抱負や希望を持っている人がたくさんいると思います。実は並木中等教育学校も今年は新たな転換の年になります。SSHの第2期が令和3年度で終了するので、第3期を昨年12月に申請しました。この後、1月中に審査がにあり、4月までには結果が発表されます。では、SSH3期では何をめざすのか。並木中等教育学校は、日本の、そして世界のリーダーを育てるということで建学されました。今年はそれをさらに推進するカリキュラム開発を行います。具体的には授業及び探究活動の質の向上を図ります。ポイントは3つです。

- 1 既存の思考パターンを打破するようなレベルまで、いろいろな考えの検討の機会を設け、より深い学びの実現を目指します。
- 2 内外問わず、より多くの人との対話の機会充実を図ります。
- 3 探究・研究はなかなか自分の思い通りにはいきません。失敗を活かし、試行錯誤する活動を支援します。などです。

さらに、今後は先生方だけでなく、研究者でもある保護者、卒業生、大学等の応援を得て、皆さんの探究活動を支援します。

これらにより、新しい発想や価値を生み出すことのできる生徒を多く育てたいと思っています。このように話しても、主役は、皆さん生徒です。Be a top learner! の精神で、積極的に取り組んでください。先生方は、皆さんの成長を全力でバックアップします。皆さんの活躍を期待します。

2つ目です。2～6年次生は気付いていると思いますが、この1月、昨年より自宅学習の日が多くなっています。理由は入学試験の採点を間違えなく行えるようにしたためです。「自宅学習の日が増えるから嬉しい」と喜んでいる人へのメッセージです。自宅学習の日が増え、取組が疎かになったらどうなるか、皆さんなら分かりますよね。この期間、何をしたらいいか、リーダーになる皆さんは自分で考えてください。宿題だけやればいい。そのようなことでよいのでしょうか。自ら考えてください。

冬季休業は終わりましたが、自主的に学習する期間が多くあります。コロナウィルスの感染に気をつけながら、やるべきことをやってください。私からは以上です。

※ 1月の並木中等storyは授業日に発行します。